

主人公の変容から、温かい心について考えを深める学習活動

◇道徳科 温かい心で親切に「はしのうえのおおかみ」：小学校1年

◇ねらい：相手の気持ちを考えながら温かい心で親切な行いをしようとする心情を育てる。

◇ICTの活用により期待される効果

- ・大型提示装置で映し出した挿絵で主人公や周りの動物たちの表情や様子の違いを捉えることで、主人公の変容に気づき、そのときの心情を考えようとする。
- ・「心のメーター」の結果やワークシートの写真等について、互いの考えを画面で共有することで、多面的・多角的に考えることができる。



◇使用する機能：スライド、学習支援ソフト

◇使用するアプリ等：PowerPoint または Google スライド、学習支援アプリ等



学習活動例

	活動内容	活用ポイント／留意点
導入	全体 課題の確認	1 課題の確認 ・「自分は親切だと思うか」について、自分の思いを「心メーター」で表す。
	課題：「あたたかいところ」とはどのようなところでしょう。	
展	一斉 教材文の内容把握 話合い	2 教材の内容の確認 ・教材文の内容を捉え、昨日のおおかみと今日のおおかみの気持ちを考え、話し合う。
	全体 話合い	3 主人公の変容についての話合い ・どうしておおかみの行動が変わったのかを考え、話し合う。
開	個別 一斉 自分の考えの確認 考えの交流	4 「あたたかいところ」についての話合い ・「あたたかいところ」とはどのような心かを考え、話し合う。
	まとめ	5 学習の振り返り ・今日の学習で感じたこと、考えたことを書く。

- ・児童が自分と友達の思いを比較できるように、学習者用端末の「心メーター」に打ち込んだ結果を大型提示装置で提示する。

- ・昨日と今日のおおかみの気持ちの変化を捉えやすくするため、おおかみや他の動物たちの表情を、大型提示装置に映して比較させる。
- ・児童が、おおかみの気持ちに迫ることができるように、くまとおおかみのやりとりの挿絵をスライド機能を使って大型提示装置に映す。

- ・児童が友達の考えを知ることができるように、ワークシートを実物投影機等で大型提示装置に映す。

- ・児童が自分ごととして温かい心について考えを深めることができるように、児童の考えを教師用端末で把握し広める。